



第二期いわて政治塾が開講



続いて塾生の自己紹介が行われました。

第一回目の講座は、中央政治大学院副院長の自見はなこ参議院議員をお招きし、「今後の新型コロナウイルス感染症対策の行方」をワクチン供給体制、感染抑制、病床確保と題し、小児科医師から政治家を目標とした経緯、厚生労働大臣政務官就任後、コロナ対策推進本部長代理としてダイヤモンドプリンセス号船内での現場指揮に当たった経験等を交え、貴重な講演をいただきました。また講演後は、班毎に分かれて、塾生と班担当役員(県議)とコミュニケーションを図ることを目的とし、意見交換を行いました。終了後のアンケートの回答では「現場の生の声が聞けて非常に良かった。」等の感想が多く寄せられました。自民党としての考え方を共有するべく、また受講生の満足度を上げるべく、内容充実に向けてしっかりと取り組んでまいります。

八月一日、岩手県連政治学校「いわて政治塾」第二期の開塾式及び、第一回目の講座を開催いたしました。昨年引き続き二期目となる今回は、十一名の再受講と二十名の新規入塾があり、第一期より五名多い三十一名の塾生での開講となりました。開塾式では、岩崎友一塾長、藤原崇塾頭、高橋ひなこ文部科学副大臣からの激励の挨拶

市町村重点要望調査を実施



八月十日・十二日、三日間にわたり県下三十三市町村に直接お伺いし、重点課題のヒアリングを行う市町村重点要望調査を実施いたしました。直接お伺いするようになって十七年目の今年は、県連役員である三人の国会議員、十四人の県議会議員が二班に分かれての調査となりました。御対応いただきました市町村及び支部の皆様にも心より感謝申し上げます。

それぞれの市町村からは、長年要望を続けている道路や河川改修などのインフラの整備に関する要望、さらに激甚化する災害に対応するための国土強靱化対策への期待、産科・小児科をはじめとする医師確保、また共済組合の仕組みが変わったことで大きな変化の中にある獣医師確保策、少子化の中での県立高校のあり方、農業政策の充実強化、森林整備の促進、漁獲高の落ち込みが激しい漁業に関する要望、新型コロナウイルスに関するワクチン接種や地域経済対策の充実についてなど、広範にわたって大変重要な要望をいただきました。

今後はいただいた要望を取りまとめた上、県のものは知事へ、国に対するものは内閣官房や関係省庁、自民党本部へ要望いたします。課題を解決し、将来への希望を共有するために、国会議員、県議会議員、市町村支部の皆様と連携をしっかりと図り、取り組みを進めてまいります。

